

## 2016年3月期 決算説明会 質疑応答の要約

### 質問者 1

- ① 中期的に IT 各社が注力すると想定される IoT（※1）の分野において、ソフトバンク・テクノロジー（以下、SBT）の技術的な現状と優位性について確認したい。

IoT 分野では、デバイスに搭載されるセンサーのデータをいかに集約して活用するかがポイントになり、子会社のミラクル・リナックスとサイバートラストの独自技術の優位性が高いと考えています。

例えば、自動車やドローンに組み込まれるデバイス用の OS には、パソコン用の OS が有する印刷機能は不要です。これらの専用デバイスには、Linux という OS が多く採用されています。日本国内において Linux OS の基幹部分を開発可能なエンジニアが極めて少ない中で、ミラクル・リナックスは必要な要素に絞って OS を調整できる技術力を保有しており、この技術が IoT 分野において必要不可欠になると考えています。

また、正しいセンサーから正しいデータが収集されているのか、デバイスの利用者は正しいのかといった確認や判別の技術も必要となります。サイバートラストの証明書を利用した認証技術で、正しいセンサーのみからデータを収集する機能を提供できると考えています。

そして、データをクラウド上で安全に管理し、機械学習（AI）を活用して分析する技術を SBT が提供していきます。

これらの独自技術やノウハウ・実績を組み合わせ、育てていくことで、IoT 分野での優位性を保てるように事業を進めていく考えです。

- ② 今後のソフトバンクグループ各社の IT 投資の動向と、SBT への影響を確認したい。

2016年3月期 第4四半期にソフトバンクグループ向けの機器販売が増加しましたが、ソフトバンクグループ各社の IT 投資の動向につきましては、十分な情報を持ち合わせておりませんし、お話できる立場にもございません。機器販売については需要の波が大きく、かつ、弊社の提案を採用していただけるかは未確定ですので、当社業績への影響は不確定と言わざるを得ません。そうした不安定な事業に依存せずに、当社としては引き続き事業のサービス化について注力する意向です。

### 質問者 2

- ③ 2017年3月期の業績予想は、売上高の伸びに比較して営業利益の伸びが保守的に思えるが、その理由を確認したい。

当社は、「データアナリティクス」「セキュリティソリューション」「マイクロソフトソリューション」をクラウド上で融合し、顧客ビジネスをトランスフォーメーションできる企業として、さらなる成長を目指す

しています。今後、クラウド上における大型の開発案件や事業のサービス化を加速させるにあたり、注力事業の領域で活躍できるエンジニアを中心に100名の獲得を目安に積極的な採用活動を行っています。採用活動が順調に進めば、2017年3月末における連結従業員数は950名前後になると考えております。

人員の増加に伴い、採用コストと人件費が増加しますし、技術力強化のための教育訓練費も増加することを見込んでいます。こうした費用の増加により2017年3月期の営業利益の伸びは鈍化するものの、同時に生産性の向上を図ることで、2期連続最高益を達成したいと考えています。

### 質問者 3

#### ④ 2016年3月期の上方修正の主な要因を確認したい。

---

ここ3年間で、特に注力事業であるマイクロソフトソリューションやデータアナリティクスにおいて、各業界トップクラスの企業の案件を対応してきました。その後、顧客企業の取り組みを事例として発表させていただき、あるいは同じ業界の企業をご紹介させていただきなどの好循環が生まれた結果、大型案件の獲得が好調に推移しました。それらの大型プロジェクトも着実に進めてまいりました。蓄積したノウハウの横展開を図れたことが、最高益を達成した大きな要因となりました。

#### ⑤ 経営が新しいステージに入った印象を受けた。クラウドのシステム化、IoTビジネスの開発という2つの事業展開に向けて、今後さらなる人材強化が必要になると考える。どのような対策や施策を行っていくのか確認したい。

---

人材強化という観点では、「効率化」、「報酬体系の見直し」、「教育強化」の3つの施策を進めています。

生産性の向上を図り、エンジニアの負荷軽減とワークライフバランスのコントロールを推進していきます。また、報酬体系については、技術力や経験豊富な人材を意識した報酬体系に変更しています。これは、採用活動において優秀な人材を獲得する要因にもなります。そして、教育に関する強化については、PMP（※2）取得推奨を引き続き推進し、国際標準のPMPの考え方・用語の社内共通化を図っていくとともに、ベテラン社員が自身のノウハウをPMPの枠組みで新入社員や中途社員に教えていけるようにすることで、技術力・プロジェクト管理力の向上を目指していきます。

※1：IoT（Internet of Things）とは、車などの様々な「もの」に通信機能を持たせ、インターネットを介して相互に制御させる仕組みです。

※2：PMP（Project Management Professional）とは、プロジェクトの管理に関する国際的な資格です。